

項目	内容
名称	ラカンカ [英]- [学名]Momordica grosvenori Swingle, Siraikia grosvenori Swingle
概要	<p>ラカンカは中国の広東、広西、江西に分布する、つる性の多年草。使用部位である果実は、球形または長球形（直径約4～5 cm）で柔毛があり、熟すと深赤褐色から青色になり、9～10月に収穫される。自然乾燥の後、焙煎で完全に乾燥させたものが使用される。</p> 
法規・制度	<p>■食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果実：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に該当する。 <p>■食品添加物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存添加物 ラカンカ抽出物（ラカンカエキス/ラカンカ）：甘味料 ・天然香料基原物質リスト ラカンカが記載されている。 <p>■海外情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国では、GRASに該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・果実の甘味物質としてmogrosideV、mogrosideIV、シアメノシドI、11-oxo-mogrosideVなどの配糖体構造が明らかにされている（1991151758） (PMID:6676453) (PMID:6676454) (PMID:6676455) (PMID:17015982)。
分析法	-

有効性

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	その他 ・健康な女性5名(平均21歳、日本)を対象に、ラカンカ抽出物(18gのショ糖と同等の甘さの量)をコーヒー200mLに入れて摂取させたところ、血糖値、血中インスリン値(IRI)、血中遊離脂肪酸値(FFA)に、ショ糖のような変動はみられなかったという予備的な報告があるが、詳細は不明(1999049248)。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。

ヒトでの評価

参考文献

- (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)
(1991151758) Agric Biol Chem. 1989;53(12):3347-9.
(1999049248) 体質学誌. 1998;60(2):122-6.
(1994154731) 基礎と臨床. 1993;27(8):3159-66.
(2005067593) 肝臓. 2004;45 (Supple3) :A603.
[\(PMID:6676453\) 薬学雑誌. 1983 Nov;103\(11\):1151-4.](#)
[\(PMID:6676454\) 薬学雑誌. 1983 Nov;103\(11\):1155-66.](#)
[\(PMID:6676455\) 薬学雑誌. 1983 Nov;103\(11\):1167-73.](#)
[\(PMID:17015982\) Chem Pharm Bull \(Tokyo\). 2006 Oct;54\(10\):1425-8.](#)
[\(PMID:15684476\) Biol Pharm Bull. 2005 Feb;28\(2\):238-41.](#)
[\(PMID:12236315\) J Atheroscler Thromb. 2002;9\(2\):114-20.](#)
[\(PMID:1140247\) Experientia. 1975 May 15;31\(5\):533-4.](#)
[\(PMID:12893428\) Cancer Lett. 2003 Jul 30;198\(1\):37-42.](#)
[\(PMID:11774428\) 中華口腔医学会誌. 1998 May;33\(3\):183-5.](#)
[\(PMID:17316947\) Food Chem Toxicol. 2007 Jul;45\(7\):1231-7.](#)
[\(PMID:17349091\) Br J Nutr. 2007 Apr;97\(4\):770-5.](#)
(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳